

いよいよ秋本番！山々が少しずつ彩り始める10月。澄みきった空とひんやりとした風が

心地いい季節になってきましたね。秋といえば「食欲の秋」、「スポーツの秋」、「実りの秋」

など、たくさんの楽しみがある季節です。また、「読書の秋」とも言われています。秋は夜が

長く、過ごしやすい季節であるため、本を読むことにも集中しやすくなり、

読書活動に適した季節と言われています。みなさんも、秋の夜長に

読書をしてみてはいかがでしょうか？いろいろな本を読んで、読書の

時間を増やし、いつもと違う本を読んでみたいして読書の秋を

満喫しましょう！



第36回 読書感想画中央コンクール 課題図書を紹介②～高学年の部～

『フラックバードの歌』カチャ・バーレン/著  
 ☆母親が起こした交通事故で  
 大ケガをしたアニー。フルート  
 奏者への夢をあきらめ、母との  
 関係もゆがんでしまった。ある日、  
 彼女はある小鳥との出会いから  
 希望の一步を踏み出していく…。



『アオナギの巣立つ森では』にしがきようこ/作  
 ☆とあることから親しくなった  
 遠山あおほと成沢椰。二人は  
 森の中で、オオタカの巣とヒナ  
 を発見する。大興奮のあおほと  
 椰は、このことを二人だけの  
 秘密にしようと約束するが…。



『すごいぞ！クモの探偵団』谷本雄治/作  
 ☆田舎町に引っ越してきた  
 加奈は、虫好き大地と  
 悠斗と三人で、クモ事件  
 の謎をテーマに自由研究  
 コンクールに応募することに！



『直紀とふしぎな庭』山下みゆき/作  
 ☆庭に集まるのは、問題だらけの  
 ふしぎな妖怪たち。彼らとの日々  
 は、直紀を少しずつ成長させて  
 いくが…。秘密とふしぎが  
 いっぱいの妖怪ファンタジー。

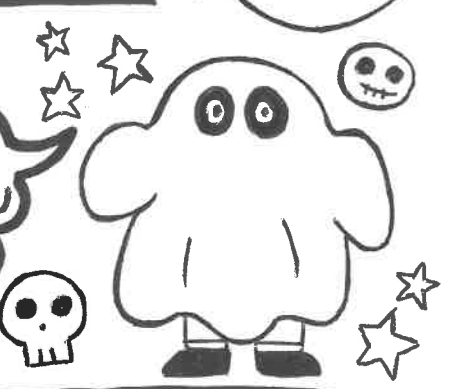


優良賞に選ばれた読書感想文を図書室で展示しています。  
 「さすが優良賞！」と感じる、すばらしい感想文ばかりなので  
 ぜひ、読みに来てください！優良賞作文の良いところを  
 取り入れて、すてきな読書感想文を書けるようにしましょう！



10月の「家読ノート」とスタンプウィークのお知らせ

10月の「家読の日」は、26日(土)と27日(日)です。  
 ☆「家読の日」は、家族みんなが一緒に「読書の時間」を過ごす日です。  
 読んだ本について家族で感想を話し合ってもすてきですね。  
 本を読んだ感想は「家読ノート」に自由に書いてください。  
 すてきな感想は図書だよりで紹介されます。



10月のスタンプウィークは、7日(月)～11日(金)です。  
 ☆スタンプウィーク期間中に図書室で本を借ると、スタンプが1つ  
 もらえます。スタンプが集まると「しおり」や「もう1冊借りられます券」が  
 もらえます。スタンプウィークは図書室で本を借りよう！



みんなの

『家読ノート』を

すこ しょうかい  
少しだけ紹介。

「ねんどのむにゅ」 新井洋行/作

☆むにゅがくまさんになったり、とらさんになったりしたところがびっくりした。(1年 男子)

「にくにくしろくま」 柴田ケイコ/作

☆いろいろなお肉料理が絵本にのっていたので、お肉料理が食べなくなりました。(3年 女子)

「とことんさんねんな生きもの事典」 今泉忠明/作

☆シロナガスクジラは体は大きいけど、のどはすごく小さいことを知ったので「意外だな～」と思った。(6年 男子)

「どこからきたの？おべんとう」 鈴木まもる/作

☆おべんとうのなかみのおかずは、いろんなことをしてできていることがわかった。(3年 男子)

「銀河鉄道の夜」 宮沢賢治/作

☆ジョバンニが夢の中で電車に乗っていて、いろいろな星座を見ていたのがきれいでした。(4年 男子)

「花の道」 岡信子/作

☆教科書に出てくるお話でした。種を落とす道が花いっぱいになったのがよかったです。(1年 女子)

「すごすぎる天気の話」 荒木健太郎/作

☆入道雲は積乱雲とは違うと初めて知りました。自分が知らないことはまだまだ沢山あるんだなと思いました。(5年 女子)

「大きなこうもりがさ」 竹久夢二/作

☆大きなこうもりがさを持っているみき子は、どこでかさを手に入れたのか知りたい。(6年 男子)

「オムライスのだまご」 森絵都/作

☆オムライスのだまごたちがとてもかわいかったです。さいごにオムライスの作り方がのっていたので、今度作ってみたいです。(5年 女子)

「ごめんやさい」 わたなべあや/作

☆悪いことをしたら、ごめんなさいを言えるのがよかったです。(3年 女子)

「空とぶ馬と七人のきょうだい」 イチンロフ・ガンバトル/作

☆七人の兄弟が協力しあって、七人の王女と出会い、天で暮らすといういいお話です。ぜひ、読んでみてください。(4年 女子)

「スーパーかめんはつよいのだ」 たけだみほ/作

☆まさるくんがスーパーかめんだった時は、おかしほっかり食べていて「つよいのだ」と言っていたけど、おかしでは強くなれないと思いました。(1年 女子)

「きりのむこうのふしぎなまち」 柏葉幸子/作

☆僕も不思議な町に行きたいと思いました。「千と千尋の神隠し」と似たようなお話だと思いました。(5年 男子)

「タヌキのきょうしつ」 山下明生/作

☆タヌキの教室の本を読んで、私も教室に行きたいと思いました。先生の腹つつみに合わせて行進の練習をしているのがおもしろかったです。(4年 女子)

「怖い道」 森絵都/作

☆僕もけんかや嫌なことがあった友達と歩いている時に、こんなすてきなことがおきたらいいなと思いました。(6年 男子)

「あいさつ」 いもとようこ/作

☆元気なあいさつは、みんなのことを元気にすることがわかったので、朝は校長先生があいさつをする前に、私が大きい声であいさつをしたいと思います。(3年 女子)

「どうぞのいす」 かやまよしこ/作

☆いすのしっぽがかわいかった。(1年 女子)

「そらまめくんのほくのいちにち」 なかやみわ/作

☆そらまめくんがたんぼほ畑に行き、ふわふわのベッドを作ったけど、雨が降って水たまりになったからかわいそうだなと思いました。(2年 女子)

「チーズ」 三月みどり/作

☆私は物語に出てきた「自分らしく」という言葉を大切にしていきたいです。私も「自分らしく」生きるけど、時には相手のことを思いやっけて生きていきたいです。(6年 女子)

「日高見戦記」 小野裕康/作

☆「難しいな」と思って読み始めたんだけど、さいごの方になって理解できるようになってきたら、人の本当の恐ろしさ、強さ、決断、信念を知ることができて、ものすごく魅力的な小説だと思いました。(6年 女子)

「すずりくん 書道具のおはなし」 青柳貴史/作

☆私はこの本を読んで書道で使う道具は、文房四宝ということを知りました。その中でも「すずり」は、文房四宝の中の王様ということも知りました。私は、書道で一番に使うのが筆だと思ったけど、王様は「すずり」だったので驚きました。(4年 女子)

「しばらくあかちゃんになりますので」 ヨシタケシンスケ/作

☆さいごのページで、みんなが赤ちゃんになっていておもしろかったです。(2年 女子)

「おぼけのジョージおおてがら」 ロバート・フライト/作

☆お家に住みついたおぼけが、泥棒を追いかけて、驚かせて、盗まれたものを取り返すお話でした。こんなおぼけならお家にいてもいいなと思った。(3年 男子)

「くだものおうさまはどっち??」 山下みき/作

☆スイカとメロンがケンカをして、スイカとメロンどっちが売れるかを競争したら、同点でおもしろかった。さいごにみんなが舞台上立って、いつの間にかフルーツバスケットになったところがおもしろかったです。みんなは何が好き?(2年 女子)

「ほくのおふろ」 鈴木のいたけ/作

☆最初は、いつも同じおふろが嫌だったけど、やっぱりいつも入っているお父さんとお兄ちゃんのおふろが一番と言っている場面に感動しました。いろいろなおふろの種類があり、おもしろかったです。(5年 女子)

「おすしやさんにいらっしゃい！」 おかだだいすけ/文

☆人間の体には、たくさんの命があるということがわかりました。そのために人間は、「いただきます」や「ごちそうさま」を言うのだと思いました。(2年 男子)